

全久院報

平成16年1月1日
全久院住職 倉科利行

本年は全久院の1年を紙面にしてみました。こんな風に全久院の1年が巡っています。

謹賀新年

あけましておめでとうございます。右の写真は昨年の全久院茶会の集合写真です。伝統的な日本文化の中で悠々とお茶を点てる。なんと優雅な時間かと思われそうですが、準備が大変です。この棚には、この水指。茶碗、茶入れなどなど、まるで方程式を解くかのように道具を取り合わせてゆかねばなりません。全部出し終わって最終チェック。すると、取り合わせてはいけない道具が出ています。もう一度初めからやり直し。なんてこともあり、1週間、寺中大騒ぎです。当日はすましてお点前。実は疲れきって座るのもやつのありさま。表面だけ見ていると、その人が何を考えているかは分かりません。



日本ばかりでなく、世界もまったくどう変化してゆくか私たちには想像することさえできない、複雑なものとなってしまいました。複雑になればなるほど奥底に流れているものを汲み取らなくてはなりません。また、見る目を養っておかねばなりません。

日本ではあまりにも頻発する悲惨な事件、日本人一人一人についてもっと深く突き詰め、理解しておかねばならない時です。世界では国や民族間の衝突が頻発しています。相手の文化、伝統、生活、考え方をしっかり自分のものにしないでなりません。

お茶を点てながら、日本の文化や伝統に思いを馳せているだけでいられる社会が来るのでしょうか。まずは平和な自分、平和な家庭作りから始めよう、と新年の決意を新たにしました。

護持会報告

新年会 全久院の新年会は毎年1月20日、曜日に関係なく、4時より開催されます。檀信徒の皆様による総会、般若心経のお勤め、懇親会となります。先々代住職の時より、檀家のみならず法事の度にお酒をたくさん頂戴していますので、年に一回お寺よりのお返しのつもりで、たくさん飲んでいただいております。毎年50人ほどの方がお集まりくださいます。どなたでも自由に参加



いただけますの

で、お時間の都合のつく方はぜひご参加ください。写真は東堂が新年の挨拶をしているところです。

護持会研修会 年に2回研修会が開かれます。おもに各お寺の総代様がたにお集まりいただき、布教師の話を聞き、昼食を皆でいただくという会です。

本年は、9月8日に松本市の広沢寺、11月22日に塩尻の西福寺で開かれました。写真は会に参加した総代様と境内で写したものです。



総代会 総代会は2ヶ月に1回、年に6回開かれます。現在総代13人、参与3人による会となっています。昨年は新住職の晋山式のための打ち合わせが主な活動でした。今年には防災や防火設備についての消防署からの指導に、どう対応するかが主な議題となっています。また、総代長の松尾恵司さまは松本市内18ヶ寺の護持会会長をお勤めいただいております。右の写真は護持会総会の折、挨拶をなさっているところです。総代の皆様本当にご苦労さまです。



住職になって 全久院には末寺といって、

寺どうしの親子関係にあたる寺が数ヶ寺あります。左の写真は、その中の一つ、渚の常德寺のお盆供養祭で導師をしているところです。私にとっては、いろいろな法要で、多くの役柄の体験ができることで、大変勉強になります。多くの体験をすることで、本当の意味での祈りができるようになると思います。

住職になったから完成されているのではなく、住職になって体験や勉強を続けることで、本当の意味での住職に近付いて行くものと考えています。

仏教では「証上の修」という教えがあります。悟りを開いて、その上で修行を続ける、という考え方です。私たちにとって悟りを開くことは大変困難です。悟りを開いた人の教えに従い、教えどおりの修行を続けることで、聖なるもの、悟りと一体になるのです。

自分なりに聖なる修行を続ける、その厳しさや、責任を感じています。

観音講 全久院には観音講という、檀家の奥様方が集

まるグループがあります。本堂に向かって左側に観音様の厨子があります。これは昭和3年に当時の講の方々がお納めくださったものです。それ以前からの講ですので100年程の歴史があります。

毎月17日の観音様の日、10時に集まり、お経、ご詠歌、昼食(全久院製精進料理)、12時半頃解散、とい



う内容です。料理はみな手作りで、

昨年12月のメニューは、きゅうり・大根・柿のごまあえ、サトイモのゆず風味煮、きのこの味噌汁でした。季節に合わせたメニューが続きます。

毎月2000円を積み立て、お正月は、温泉旅館にて年始の会。春秋は近郊への日帰り旅行と、お楽しみも充実しています。浅間温泉、美ヶ原温泉、穂高温泉郷、大町温泉郷、奈川村、四賀村など、1日のんびり

した日を過ごします。

現在は60才から90才までの、20人ほどの方が参加しております。気よりが良く、趣味、



身の上話、悩み事の相談など、話の途切れることがありません。どなたでも参加できますので、ご希望の方はお寺に連絡してください。

本山講 毎年5～6月頃に曹洞宗の本山、永平寺か総持寺にお参りし、近隣に旅行しています。旧松本市街の18ヶ寺（第3教区と呼ばれています）の主催で、100人くらいの参加者があります。

昨年は真言宗の本山、高野山金剛峰寺へお参りして来ました。写真は高野山、奥の院で写したものです。高野山の山中に漂う宗教的雰囲気圧倒された旅行でした。

毎回全久院からは5～6人ほどの参加者があり、住職も同行します。ただの旅行ではいけないと思い、下調べをして、バス中で一口講座を開講します。しかし、堅苦しい旅行だけでなく、夜の懇親会には、檀家さま代表、各お寺さまによる余興も飛び出します。

今年は、総持寺祖院をお参りして、能登半島を巡ります。総持寺を開かれた蛭山禅師を勉強しながらの旅になりそうです。費用は6万円。ご希望の方はお寺へお問い合わせください。

茶道 全久院には表千家の茶道の稽古場があります。また長野県支部の事務局になっています。

東堂が大先生で、大黒も先生。住職にとって、お弟子さんの大半が先生の資格を持っているので、皆さんが先生です。住職の子供たちも小さい頃から茶室に来てはお茶を飲んでいたので、皆お茶



が大好き。お点前も始めました。11月3日は恒例の全久院茶会。去年は2女の愛里がかなり難しい濃茶の点前をしました。今年は3女の小学生が薄茶に挑戦します。

東堂が表千家長野県支部を設立してから45年が過

ぎました。その記念として、東信の塩田平のお寺をお借りして、安楽寺、北向き観音、前山寺、中禅寺などで茶席を設け、1000人の参加者により、お祝いの茶会が開催されました。松本地区の野点席（右写真）を担当したり、住職は事務局で各席を駆け巡って調整に当たったりと、お茶もなかなか大変です。



ボランティア活動 1980年タイ国に開設されたカンボジ

ア難民キャンプで1年間、住職は学校運営などボランティア活動をしました。現在は曹洞宗の僧侶が中心になって、SVA（シャンティ一国際ボランティア会）という組織を立ち上げ、外務省管轄の社団法人になりました。寄付は無税扱いになりました。

写真はカンボジア人 ポリーさん。難民キャンプの、私たちの作った図書館で、私たちが作った本を読んだ経験を持ちます。平和な時代になり、カンボジアの SVA 事務局が職員募集した時採用されました。教育の発展に貢献し



たいという強い情熱を持っています。私たちが難民キャンプで蒔いた種が芽を出したという思いです。彼は先生に、本の読み聞かせの仕方や図書館の使い方を教えています。全久院に来て、現地報告をしてもらったり、読み聞かせを実演してもらいました。



全久院では、SVA に協力して、カンボジアとラオスに送る絵本作り、ビルマ難民に冬物衣料を送る活動をしました。写真は衣類の整理、絵本作りをするボランティアです。まだまだ人手が足りません。お手伝いいただける方は、お寺に連絡ください。お願いします。

檀家さまどうしの交流をしたいと思います、ぜひ参加してください

昨年、7月下旬、お墓の掃除をして、その後懇親会を催したところ15人の方が参加していただくことができました。下の写真は、汗をかいた後の懇親会の模様です。その際、一回だけの催しではなく、座禅をしてみたい、お寺のお粥を食べてみたい、精進料理を食べてみたいなど、いろいろな意見が出ました。さすが般若湯の威力はすごいと思いました。そこで、座禅をして、お粥を食べて、精進料理をつまみにして、般若湯をかたむけ、語り合いをしたいと思います。



2月21日(土)

17時 座禅

17時30分 仏教スタイルでのお粥

18時 精進料理で般若湯懇親会

こんな催しを考えてみました。檀家様ならどなたでも、またお友達をお誘いいただいても結構です。ぜひ、ご参加ください。なお準備の都合上参加いただける方は、**34-4308**まで電話ください。よろしく願いいたします。

その他、6月中旬には子供座禅会、7月第一土曜・日曜日には一泊の座禅会を松本市内の若手僧侶の会で計画していますので、参加希望の方はお問い合わせください。

儀式について 自分への自戒も込め、現代の風潮を考えると、便利さを金で買う時代ということができると思います。社会の変化で、親戚も少なく、隣組も頼みずらく業者を頼まなければなりません。自宅も狭い、駐車場もないので、式場も借りなくてはならない。

こんな話もあります。臓器移植について、移植されるのはいやだが、自分の臓器で助かる人がいるなら、提供はしたい。日本人は自分にしてもらいたい以上のことを他の人にして差し上げたいという、やさしさがあるようです。

しかし、儀式に関しては、自分ができる範囲で、自分たちの力で、家族の気持ちを込めてすることが自分の望みだと思います。そうすることで、家族がまとまり、祖先を敬う気持ちも強くなります。儀式についてももう一度考えてみませんか。